

令和7年度入学

川名中学校



「入学のしおり」

—入学説明会資料—



校訓「時をいかせ」



学校名	名古屋市立川名中学校	創立	昭和22年4月
所在地	〒466-0822 名古屋市昭和区楽園町93番地		
通学区域	川原・滝川・伊勝の3小学校区		
電話番号	(052) 832-2230	FAX番号	(052) 834-9363
ホームページアドレス	http://www.kawana-j.nagoya-c.ed.jp/		

I 学校教育目標

1 校訓

「時をいかせ」

- ・ その一瞬一瞬の時（時間）を大切に努力できる生徒
- ・ その時々場面（機会）を的確にとらえて伸びる生徒

2 教育目標

- 授業で生徒が互いに評価し合い認め合おう！（学習指導）
- 学校行事等で互いに協力して取り組み、成就感を味わおう！（特別活動）
- ルールやマナーを守り、互いの立場を尊重し合おう！（生徒指導・保健指導）

3 目指す生徒像

集団の中でともに成長し、たくましく生きる生徒

4 目指す生徒像に迫るために

- 基本的生活習慣の確立
 - ・ 生活の基本5か条の意識付け「授業を大切にしよう」「なかまを大切にしよう」「ルールやマナーを守ろう」「時間を守ろう」「あいさつをしよう」
 - 教科学習の充実
 - ・ 生徒自らが目的意識をもって学習に取り組む授業展開の工夫
 - ・ 言語活動の充実を図る授業展開の工夫
 - 基礎的・基本的な学力の定着
 - ・ 朝学習の実施
 - ・ 夏季休業中やテスト週間における学習会や質問会の実施
 - ・ TT（ティームティーチング）指導や少人数指導の実施
 - ・ 読書週間の実施
 - 道徳教育の充実
 - ・ 日頃からの道徳教育の充実を図る授業の工夫
 - ・ 一斉道徳の実施
 - 総合的な学習の時間の充実
 - ・ 課題学習の推進
 - ・ 体験的な活動の推進
 - 継続的な進路指導
 - ・ 3年間を見通した進路学習の推進
 - ・ 職業についての学習、上級学校調べなどの実施
 - 自主性・主体性を育む特別活動
 - ・ 稲武野外学習や修学旅行、3年生を送る会など、各種実行委員会による主体的な企画・運営
 - ・ 音楽会、入学式・卒業式、3年生を送る会、校歌コンクールなどにおける合唱活動の充実
 - ・ 生徒による自治活動〔生徒会活動、生徒委員会活動〕の推進や生徒集会の充実
 - よりよい集団づくり
 - ・ 一人一人が輝ける場〔委員会・係活動、各種行事〕の設定
 - ・ 体育大会、音楽会などにおける集団行動の充実
 - （・ 縦割り活動〔体育大会種目練習、合唱練習〕の充実）
 - 健全な心身の育成
 - ・ 日常的な教育相談活動の意識
 - ・ 年2回の学校生活アンケートの実施
 - ・ 定期的に自殺予防教育の実施
 - ・ 学期に1回の教育相談週間の実施
 - ・ 教育相談前のアンケート実施
 - ・ 自らの健康に関心を持ち、感染症対策に取り組みながらの活動の実施（感染症予防の実践）
 - ・ 一斉保健学習〔1年「くすりの話」、2年「生と性を見つめて」、3年「薬物乱用防止教室」〕の実施
 - ・ スクールカウンセラーによる専門的なカウンセリング
 - 家庭・地域との連携
 - ・ 学校だより、学年だより、保健だよりなどの発行
 - （・ 学校開放日〔体育大会、音楽会、作品展の公開を含む〕の実施）
 - ・ 学校HPの定期的な更新
- (2) 質の高い教師集団を目指して
「ともに学び、ともに遊び、ともに働く教師」
- 授業力の向上 ⇒ 授業を大切にする教師集団
 - 子どもとの「心のつながり」の形成 ⇒ 子どもを大切にする教師集団
 - 組織力の向上 ⇒ 助け合い、支え合う教師集団

II 学級数・生徒数

学年	学級数	生徒数				学級数	生徒数			合計
		男子	女子	計			男子	女子	計	
1年	6	108	90	198	分校くすのぎ学園1年	2	3	3	6	204
2年	6	112	111	223	分校くすのぎ学園2年		1	2	3	226
3年	5	100	79	179	分校くすのぎ学園3年		0	3	3	183
特支学級	2	5	1	6						
計	19	325	281	606		2	4	8	12	618

(令和6年11月1日現在)

III 学校生活

1 週間課程表（令和6年度）

※ 「総合」＝総合的な学習の時間

校時	月	火	水	木	金
8:30～8:40	朝の会・生徒自主活動				
1 (8:45～9:35)	(1) 道徳	(7)	(13)	(19)	(24)
9:35～9:45					
2 (9:45～10:35)	(2)	(8)	(14)	(20)	(25)
10:35～10:45					
3 (10:45～11:35)	(3)	(9)	(15)	(21)	(26)
11:35～11:45					
4 (11:45～12:35)	(4)	(10)	(16)	(22)	(27)
12:35～13:10	昼食、昼休み				
5 (13:15～14:05)	(5)	(11)	(17)	(23) 特活	(28) (総合)
14:05～14:15				帰りの会・清掃	
6 (14:15～15:05)	(6)	(12)	(18)		(29) 総合
15:05～	帰りの会・清掃		帰りの会・清掃		帰りの会・清掃

2 授業について

(1) 週授業時間数（令和6年度）

	必修教科									道徳	特活	総合	自立活動	作業学習	計
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健	技家	英語						
1年	4	3	4	3	※1.5	※1.5	3	2	4	1	1	1			29
2年	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2			29
3年	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2			29
特支学級	4	3	4	2	2	1	3	2	2	1	1	1	3	0	29

※ 1年生は、音楽と美術が隔週で交互に週2時間になります。（音楽が週1時間のときは美術が週2時間、音楽が週2時間のときは美術が週1時間となります。）

◆ 「総合」：総合的な学習の時間

(2) 総合的な学習の時間（令和6年度）

自分で課題を見付け、自分で学び、自分で考え、よりよく問題を解決できるようにし、自分の生き方を考えることができるようにします。

総合的な学習の時間の全校テーマ	
互いに尊重しながら協働し、主体的に学ぶ ～自分らしさをみつけ、思いを表現し合える生徒の育成～	
1年	<p>学年テーマ</p> <p>扉をたたく —持続可能な社会づくりを考えよう—</p>
	<p>探求課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力</p> <p>自分の生き方と社会との関わりを捉え、理解する。 自分の生活や地域社会から課題を見付け、課題の解決に必要な情報を様々な方法で収集し、比較・分類・関連づけなどをしながら分析し、まとめ・表現をする。 他者と協働して探求的な学習に取り組み、学習から得たことを実生活に生かそうとする。</p>
2年	<p>学年テーマ</p> <p>扉をひらく —働くことの意義を考えよう—</p>
	<p>探求課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力</p> <p>自分の生き方と職業との関わりを捉え、理解する。 自分の生活や様々な職業から課題を見付け、課題の解決に必要な情報を様々な方法で収集し、比較・分類・関連づけなどをしながら分析し、まとめ・表現をする。 他者と協働して学習課題の解決に主体的に取り組み、力を合わせて解決しようとする。</p>
3年	<p>学年テーマ</p> <p>前へ —自分の未来を考えよう—</p>
	<p>探求課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力</p> <p>自分の生き方と社会や仕組みとの関わりを捉え、理解する。 自分の特性を理解し、自分の生活と社会の仕組みとの関わりについての課題を見付け、課題の解決に必要な情報を様々な方法で収集し、比較・分類・関連づけなどをしながら分析し、まとめ・表現をする。 他者と協働して学習課題の解決に主体的に取り組み、力を合わせて解決しようとするとともに、自分の生き方について考えようとする。</p>

3 主な年間行事（令和6年度）

4月	始業式・入学式・対面式 身体測定 PTA総会（紙上開催）	 〈入学式〉	 〈さくらの木の下で〉
5月	修学旅行説明会・進路説明会 部活動保護者会 体力・運動能力調査 中間テスト 避難・防災訓練 教育相談 3年：修学旅行 1年：校外学習	 〈修学旅行〉	 〈修学旅行説明会〉
6月	環境学習週間 期末テスト	 〈1年校外学習〉	 〈1年校外学習〉
7月	稲武野外学習説明会 3年：薬物乱用防止教室 個人保護者会 終業式	 〈稲武野外学習〉	 〈稲武野外学習〉
8月	2年：稲武野外学習 全校出校日（1回）	〈稲武野外学習〉	
9月	始業式、防災訓練（保護者引渡訓練） 3年：進路相談 1年：薬剤師による講話 中間テスト	 〈体育大会〉	 〈体育大会〉
10月	体育大会 生徒会役員選挙（後期） 音楽発表会（名古屋大学豊田講堂にて） 3年：進路説明会 2年：命の教育	〈体育大会〉	
11月	教育相談 期末テスト 入学説明会（小6保護者対象） 家庭教育セミナー（保護者対象） ストレスマネージメント学習	 〈音楽会〉	 〈音楽会〉
12月	中学校生活を学ぶ会（小6児童対象）（小学校訪問を予定） 個人保護者会 終業式	 〈3年生を送る会〉	 〈3年生を送る会〉
1月	始業式 3年：学年末テスト 2年：道徳講演会 3年：個人保護者会 1年：職業講話 2年：職業体験学習	〈3年生を送る会〉	
2月	1,2年：学年末テスト 3年生を送る会	 〈卒業式〉	 〈卒業式〉
3月	卒業式 生徒会役員選挙（前期） 1,2年：学年保護者会 修了式	〈卒業式〉	

4 部活動（令和6年度のもので。今後、変更がある場合もあります。）

(1) 部活動名と活動内容

＜ 運動部 ＞

部	性別	活動内容・目標	平日の活動日	自己負担品
野球	男女	野球を通じて、礼を学び、チームプレーを学ぶ。スポーツマンシップの育成。	月～金の中から4日	グローブ、ユニフォーム スパイク、帽子など
サッカー	男女	サッカーの基本技術を習得するとともに、ゲームの楽しさを味わう。	月～金の中から4日	シューズ、練習着、ユニフォーム すねあてなど
バレーボール	女	バレーボールの技能を高める中で、物事に取り組む時の真剣な姿勢と集団生活の規律を体得する。	月～金の中から1～3日	シューズ、ソックス 練習用Tシャツ 短パン、ウインドブレーカーなど サポーター類
バスケットボール	男女	バスケットボールを通して、体力を高めるとともに、ゲームの楽しさや、チームプレイの素晴らしさを味わう。	月～金の中から2・3日	シューズ、ユニフォームパンツ Tシャツウインドブレーカーなど
ソフトテニス	男女	ソフトテニスを通して、礼儀作法と精神力を身につける。	月～金の中から3日	ラケット、シューズ ユニフォーム、ゼッケン ウインドブレーカー 練習用Tシャツ

＜ 文化部 ＞

部	性別	活動内容・目標	平日の活動日	自己負担品
美術	男女	美術の表現活動を通して、制作することの楽しさを味わう。仲間を大切に思いやる・認め合う気持ちを伸ばすことで、居心地のよい集団をつくることのできる生徒の育成。	月～金の中から2日	クロッキーブック スケッチブック、画用紙、 デザインセット、色えんぴつなどの 描写道具
吹奏楽	男女	コンクールや定期演奏会、地域での演奏を通して演奏技術を高める中で、向上心を養う。音楽を通じて、仲間と共に協力することの大切さを知る。	月～金の中から4日	部Tシャツ、ファイル、マウスピース、手入れ用品、譜面台、リードなど、楽器によって個人購入品があります。

- ◆ 部活動（課外）参加者は、原則平日週4日、休日月2日までの活動となります。
時期によって活動時間が異なります。

(2) 部員数一覧（部員数は年度当初のもの）

部活動名		1年	2年	3年	計
運動部	野球（男女）	18	12	8	38
	サッカー（男女）	13	24	13	50
	バレーボール（女）	8	12	14	34
	バスケットボール（男）	28	17	7	52
	バスケットボール（女）	17	14	3	34
	ソフトテニス（男）	0	14	33	47
	ソフトテニス（女）	16	17	11	44
	小計	100	110	89	299
文化部	美術（男女）	23	25	1	49
	吹奏楽（男女）	25	22	22	69
	小計	48	47	23	118
合計		148	157	112	417/606

5 生徒心得

制服について

〈ブレザー〉

- ・ブレザーの前合わせは左右どちらでも可
- ・川名中ボタン。（黒）

〈ポロシャツ〉

- ・川名中指定のポロシャツを着用する。

〈ボトム〉

- ・スカート丈はひざがかくれる長さ。
- ・ズボンの裾は引きずらない。
- ・ズボン着用時は、ベルトをする。

(1)服装について

〈肌着〉

- ・ポロシャツ着用時以外は、必ず着用する。
- ・色は、白、黒、紺、灰色。
- ・ハイネックは不可。

〈靴下〉

- ・色は白、黒、紺、灰色で単色無地のもの。
- ・ワンポイントは可。

〈防寒具・防寒着〉

○コートなどの防寒着

- ・コートの色は、黒・紺・灰色・白・ベージュの派手でないものとする。
- ・長さは、腰程度から膝丈くらいとし、活動の妨げにならないように着用する。
- ・ウィンドブレーカーの着用も可。（色は問わない。）ただし、長さは上記と同じ。

○手袋・マフラー・ネックウォーマー

- ・登下校時、屋外清掃時に着用する。
- ・飾りのないシンプルで安全なもの。（華美でないもの。色の指定はなし。）

○カーディガン・セーター・ベスト

- ・色は、黒・紺・灰色・白・ベージュの派手でないものとする。
- ・サイズが適度でブカブカでないもの。
- ・着丈はおしりがかくれない程度のもの。
- ・ポケット付きは可。
- ・パーカーやハイネック、タートルネックのものは着用しない。

○タイツ

- ・色は、黒、紺、灰色、白、ベージュのもの。

〈上履き〉

- ・バレースューズ型やサンダル型など歩きやすいもの。
- ・余分な装飾のないもの。
- ・色は白、黒、紺のもの。

〈下履き〉

- ・白が基調の運動靴。（ひもは白色）

〈名札〉

- ・台布は黒色で、左胸ポケットの上部に縫い付けるか、安全ピンかスナップボタンでとめる。（どの服装でも）

(2) 頭髪について

- いつも清潔にする。
- 肩につくときは、黒・紺・茶色のゴムで束ねる。
- 整髪料を使用しない。
- パーマ、染色や脱色をしない。

(3) 持ち物

〈通学かばん〉

- 両肩で背負うリュックサックのもの。
- 余分な装飾のないもの。
- キーホルダーは目印として、1個までとする。
- 色は、黒、紺、灰色の単色のもの。
- 補助バックは、体操服などがリュックサックに入りきらない場合に使用する。
- 補助バックのみの登校はしない。

(4) その他

- 体育用ジャージや体育館シューズなどは、販売店（別紙参照）でお求めください。
- 時計、カメラ、携帯電話・スマートフォンなどの貴重品は持っていないようにしてください。

6 通 学

(1) 通学方法

- 個人通学で登下校します。
- 自転車通学、バス通学は認めていません。けがなどでやむを得ず、公共交通機関等を利用するときは、学校へ連絡をしてください。

(2) 登下校

①登校時

- 8時25分（予鈴）までに校門を通るようにしてください。
- 登校時は、正門と東門を利用します。

②下校時

- 原則として、16時00分までに下校することになっています。
- 部活動（課外）参加者は、以下の時間までに完全下校することになっています。
3月～9月は18時00分、10,11月,2月は17時30分、12月,1月は17時15分まで
- 下校時は、原則、正門・東門を利用します。

7 昼食について

(1) 方法

弁当とスクールランチの併用です。（ミルク給食もあります。）
スクールランチを頼むか、家庭から弁当を持参するかは自由です。

(2) スクールランチについて（別紙参照）

① 調理方法について

校外の民間調理施設に調理委託されたものが各学校に配送され、校内の配膳室で盛り付けして生徒に渡します。

② メニューについて

種類は、ランチルーム用メニューとして2種類（A・Bランチ）、教室用メニューとして2種類（C・Dランチ）が用意されています。

ランチルームメニューは、ランチルーム使用時のみ選択できます。なお、メニュー表は前月中旬ごろに配布します。

③ ランチルームについて

一日2クラスの生徒（クラス単位）が、年間を通して順にランチルームを利用します。ランチルーム利用日は、弁当を持ってきた生徒もランチルームで食べます。

④ 食費について

- ・ スクールランチは、1食あたり320円（保護者負担額：令和6年度）です。ただし、ミルク代は別途徴収します。
- ・ インターネット上の予約システムで期限までに入金・予約が必要です。入学時に、ID・パスワードが記載されたプリントが中学校から配布されます。

⑤ その他

具体的な実施日とランチルーム使用日は、月ごとに「スクールランチメニュー表」とあわせて配布する「スクールランチ実施予定表」でお知らせします。

※ 詳細については、入学後にあらためて説明します。

8 学校で必要なおもな経費

PTA会費、生徒活動費、ミルク給食費など

〈その他〉

校外活動費（修学旅行、稲武野外学習など）、卒業アルバム代（3年）

教材費（補助教材費、実習教材費など）

- ・ PTA会費、ミルク給食費等の納入については、銀行の自動振替制度を採用し、集金させていただいています。
- ・ 実施に当たりましては、当校の取引銀行である「名古屋銀行」に口座を開設していただきます。（小学校で既に口座を開いてある方は、そのままお使いください。
- ・ 「学校納付金口座振替依頼書」は、各小学校を通じて、3月初旬ごろお渡しいたします。

※ 詳細については、入学後にあらためて説明します。

Ⅳ 入学式について

◎ 入学式までにそろえていただきたい用品

- ・制服
- ・体操服、体育館シューズ
- ・かばん（リュックサック）
- ・上履き

※ 制服および体育教材は下記の販売店で取り扱いがございます。詳細は、販売店にお問い合わせください。ジャージ上着、体操服には個人名の刺繍が入ります。2月中旬頃までに販売店にお申し込みください。

ナゴヤ学生服（昭和区滝川町 47-78）

052-832-1616 10時～19時 水曜定休

リンゴ学生服（瑞穂区丸根町 1-11）

052-833-7078 10時～18時 水曜定休

入 学 式

- 1 日時 令和7年4月8日(火) 午前9時（午前8時10分から8時25分までに登校）
- 2 場所 本校 体育館
- 3 服装 制服（冬服）
- 4 当日の流れ
 - (1) 体育館の壁に掲示する“名簿”でクラスを確認してください。
 - (2) 新入生は、該当クラスの教室で待機し、指示に従ってください。
保護者の方は、クラスと教室を確認して体育館へお入りください。
 - (3) 入学式（9時～9時30分）
 - (4) 学級活動（9時40分～10時20分） ※教科書の配付も行います。
 - (5) 保護者の方は、諸連絡をさせていただきますので、体育館にお残りください。
 - (6) 終わりましたら、お子さまの教室へ移動してください。
 - (7) 学級活動が終わりましたら、お子さまと一緒に下校してください。
- 5 持ち物
 - ・「就学通知書」（区役所から送られてきたもの）
当日、教室にて担任に提出していただきます。（お子様に持たせてください。）
 - ・「学校納付金口座振替依頼書」
当日、教室にて担任に提出していただきます。（2枚複写をそのままお出しください。）
 - ・リュックサック(教科書を持ち帰ります)、上履き、体育館シューズ(中学校用)
 - ・筆記用具



【誓いの言葉】



【初めての学活】

なごやっ子 あんしんメール

名古屋市緊急情報メール配信システム

ぜひご登録ください!

児童・生徒の登下校時の安全確保を図るための不審者情報や、急な行事変更などの情報を、いち早く学校や名古屋市教育委員会から保護者の皆さまの登録アドレスへ直接メール配信いたします。

★ 登録された保護者のメールアドレス等は、安全なセキュリティーシステムによって保護され、緊急情報等の配信以外には使用しません。

▶ なごやっ子あんしんメールに関するお問い合わせ先

お客さまサポートセンター (フリーダイヤル)

 **0120-342089**

平日9時～12時・13時～17時(年末年始、土日祝日を除く)

 E-mail **info@cep.jp**

- 迷惑メールとして受信拒否されないように「@cep.jp」のドメイン指定受信設定をしてください。
- 新入生の兄・姉が在籍する場合は、新入生の新規登録の際に、改めて在籍するお子様全員のお名前を入力してください。

担当課 学校保健課保健体育係 ☎052-972-3246
平日9時～12時・13時～17時(年末年始、土日祝日を除く)

例えば...



各学校(園)からの情報配信



令和 6 年 11 月 15 日

保護者 様

名古屋市立川名中学校長

白木 則和

「なごやっ子あんしんメール」へのご登録のお願い

名古屋市立学校では、緊急時を含めた情報連絡のため、「なごやっ子あんしんメール」（登録商標：きずなネット）が運用されています。裏面の「きずなネット連絡網登録方法」に従って、お手持ちの携帯電話もしくはスマートフォン等からご登録いただきますと、学校や教育委員会からの連絡を受け取っていただくことができるようになります。

学校から保護者の皆様へのご連絡は、文書で行うこともありますが、緊急時を含め、迅速に情報連絡を行うため、「なごやっ子あんしんメール」で連絡をさせていただくこともあります。保護者の皆様には、メールの即時性をご理解いただき、ぜひこの「なごやっ子あんしんメール」にご登録いただきますようお願い申し上げます。なお、本校に、新入生の兄や姉が在籍する場合は、新入生の新規登録の際に、改めて在籍するお子様全員のお名前を入力することになっておりますので、お間違えないようご登録ください。

また、「なごやっ子あんしんメール」のきずなネットアプリでは、「地域情報」において、子ども向けのイベント等のデジタルチラシを掲載しています。よろしければご覧ください。

なお、登録等に関するお問い合わせは、恐れ入りますが裏面の右下に記載してあります「中部電力株式会社 きずなネットお客さまサポート」（※）へお願いいたします。

【※ TEL (0120-342-089) E-mail (info@cep.jp)】

確実な情報伝達のため、保護者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和 6 年 11 月 15 日

新入生保護者 様

名古屋市立川名中学校長

白木 則和

学校集金自動振替制度へのご協力をお願い

皆様方にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本校では P T A 会費をはじめ給食費等の納入につきましては、銀行の自動振替制度を採用し、集金事務の簡素化と合理化を図っています。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

自動振替制度については、ご承知のことと思いますが、皆様方がご家庭でご利用の電気・電話・NHK等の公共料金の自動支払と同様に預金口座から自動的にお支払いいただく制度で、すでに多くの小中学校・高等学校等で採用されております。

尚、御負担いただく金額は、一回につき 27 円(口座振替手数料 25 円・消費税 2 円)です。どうか主旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

実施にあたりましては、本校の取引銀行<名古屋銀行>で便宜を図っていただいておりますので、お手数ですが下記要領により手続きをお願い申し上げます。

記

1. すでに<名古屋銀行>に口座をお持ちの方で、その口座を利用されたい方は、その口座番号を「学校納付金口座振替依頼書」にご記入いただき、銀行窓口で預金取引印の照合を受けてください。
2. 新たに預金口座を作られる方は、「学校納付金口座振替依頼書」、「印鑑」、「現金」と「ご本人確認のできる公的書類（運転免許証・健康保険証・パスポート等）」をご持参のうえ、最寄りの<名古屋銀行>で普通預金口座を作成ください。
※ 公的書類で顔写真付きでない書類の場合は 2 種類の公的書類が必要となります。
(例) 口座名義の方の健康保険証+口座名義の方の年金手帳
口座名義の方の健康保険証+口座名義の方の住民票 等
詳しくは、<名古屋銀行>までお問い合わせください。
3. 上記 1.2 いずれの方も入学式に「学校納付金口座振替依頼書」をご持参ください。

楽しく、おいしく、バランスよく

中学校 スクールランチ



保護者の方へ

名古屋市立の中学校では、学校給食として「中学校スクールランチ」を実施しています。

スクールランチは、小学校の給食のようにみんなが同じメニューを会食する方式ではなく、生徒が複数のメニューから選択することができ、家庭からの弁当持参も選べる、特色ある方式です。

いずれのメニューも学校給食摂取基準に基づいて名古屋市教育委員会の管理栄養士や小・中学校の栄養教諭が作成しており、成長期に必要な栄養を摂取できるように配慮してあります。

メニューの選択を通して、自己の健康とそれに適した食生活を自主的に管理できる能力を育てることを目標の一つとしています。

このリーフレットでは、名古屋市の中学校スクールランチの特色・利用方法・会食までの流れ・栄養バランスなどを紹介していますので、お子さまといっしょにご覧ください。

より詳しい内容はこちら



名古屋市公式ウェブサイト



中学校スクールランチ予約システム

名古屋市教育委員会

School Lunch 楽しく

スクールランチの特色

複数メニューからの選択

ランチルームでの会食

家庭からの弁当持参を認める



民間の工場で、安全面、衛生調理します。

食材の産地や内容に問題がないか確かめます。



利用方法

インターネット上の予約システムで期限までに入金・予約が必要です。

① 認証情報の受取

入学時に、ID・パスワードが記載された書類を学校から受け取ります。

② 入金

ランチ代をチャージします。

※予約の前にチャージが必要です。



ネットでクレジットカード決済

卒業まで自動支払い設定できます



払込票でコンビニ現金支払い



払込票とアプリで電子マネー決済

③ 予約

予約システムで予約します。

卒業まで自動予約設定できます



PC・スマートフォンで
ご家庭で予約



タブレットで
学校で予約

予約開始日

前月1日(土日祝日の場合は翌平日)

予約(キャンセル)期限

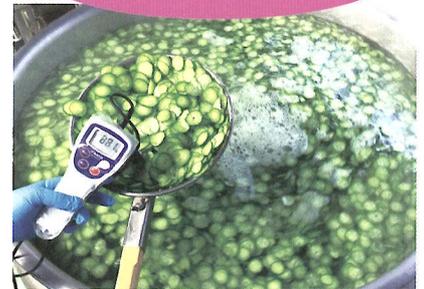
ランチを食べる日の3日前(土日祝日を除く)

※予約開始日・期限は、事前にお知らせしたうえで変更することがあります。

いためる



中心温度をはかる



食中毒を防止するために、しっかりと加熱した後、おかずは一定温度

配送

調理したものを適切に温度管理し、保冷車で各学校へ配送します。



ご飯や汁物しるものは、冷めないよう保温コンテナしよっかん・食缶に入れ、温かい状態を保ちながら運ばれます。

はいぜ配膳



おいしく、バランスよく

はいりよ
面に配慮して

揚げる



冷やす



まで急速に冷やします。

はいぜん
各学校の配膳室で給食
の準備をします。
昼食時に生徒へ給食の
受け渡しを行います。



ランチルームでの会食

A B メニュー

セルフサービスで、トレイに米飯(パン)・おかずなどを受け取ります。
お弁当の場合でも、ランチルームで会食します。

ラーメン・うどんなどのメニューもあります。

A



B



教室での会食 C D メニュー

カレーやどんぶりの具は保温容器に入ってます。

C



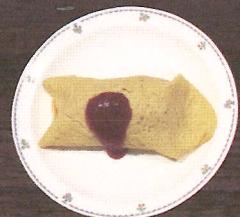
D



ソースカツ丼



手羽先風からあげ



オムライス



肉と野菜の
スタミナサンド

メニューの紹介

毎月、新メニューが
あります!



おぼろみそめん



白身魚のおかか揚げ



ハンバーグカレー



野菜ととり肉の
ねぎま丼
(生徒応募献立)



栄養バランスのとれたスクールランチ

スクールランチのメニューは、みなさんの成長に必要な栄養が含まれるように考えられています。

主食

ご飯・パン・めん類を提供しています。
ご飯は225g使用しています。

主菜

肉や魚などを中心に、
60～80g使用しています。

副菜

^{かいそう}野菜・海藻・きのこなどを
120g程度使用しています。



弁当を持参する場合も
栄養バランスをとりましょう

副菜

緑黄色野菜・その他の野菜・海藻・きのこなどを使った料理で、ビタミンや無機質を補います。120gを目安に入れましょう。

主食

ご飯・パン・めん類などで、炭水化物の供給源になります。ご飯は200g～250gを目安にしましょう。



主菜

魚・肉・豆・豆製品・卵などを使った料理で、たんぱく質の供給源です。



スクールランチの献立ができるまで

スクールランチの献立は教育委員会の管理栄養士と小・中学校の栄養教諭が作成しています。「献立作成会議」や調理業者も交えて実施される「献立・調理技術会議」で、スクールランチの運営について、メニューの研究、その他に必要な調整を行い献立を協議・決定しています。

食材が重ならないように、旬のものを使って…など確認しながら献立を作成しています



教育委員会や調理業者が、毎月1品以上新メニューを考案しています。また、毎年実施している生徒応募献立「こんなおかずがあったらいいな」の採用献立も毎月1品提供しています。実際に提供されるまでには、会議や試作などを何度も行い、皆さんに「おいしい!」を届けられるような工夫をしています。

特別支援教育就学奨励費のお知らせ

名古屋市立の小中学校の特別支援学級などに就学している障害のある児童生徒については、世帯の所得に応じて、学用品費や学校給食費などを支給する「特別支援教育就学奨励費」制度を利用することができます。

対象者 次の1～3のいずれかに該当する方

- 1 特別支援学級の児童生徒
- 2 通級指導教室の児童生徒（3に該当する者以外のもの。交通費(通学費)のみ支給します。）
※県立特別支援学校への通級も対象となります。
- 3 通常の学級（通級指導教室を含む。）の児童生徒のうち、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当するもの（詳細は裏面をご覧ください。）

補助対象の経費

（金額は令和6年度の額で、年額です）

区 分	小 学 校	中 学 校
① 学 校 給 食 費	実 費 額 × 1/2	実 費 額 × 1/2
② 交 通 費（通 学 費）	実 費 額（注1）	実 費 額（注1）
③ 交 流 学 習 交 通 費	実 費 額（注1）	実 費 額（注1）
④ 修 学 旅 行 費	実 費 額 × 1/2 （上限 10,790 円）	実 費 額 × 1/2 （上限 28,860 円）
⑤ 校 外 活 動 費（宿 泊 を 伴 う も の）	実 費 額 × 1/2 （上限 4,452 円）	実 費 額 × 1/2 （上限 4,979 円）
⑥ 校 外 活 動 費（宿 泊 を 伴 わ ない も の）	実 費 額 × 1/2（上限 800 円）	実 費 額 × 1/2（上限 1,155 円）
⑦ 学 用 品 ・ 通 学 用 品 購 入 費	5,820 円（注2）	11,370 円（注2）
⑧ 新 入 学 児 童 生 徒 学 用 品 ・ 通 学 用 品 購 入 費 （1 年 生 の み）	25,555 円（注2）	30,490 円（注2）
⑨ オ ン ラ イ ン 学 習 通 信 費 （認 定 I 段 階 の み）	実 費 額 × 1/2（注3） （上限 7,000 円）	実 費 額 × 1/2（注3） （上限 7,000 円）

（注1）②③は、認定段階が第Ⅲ段階の場合は、「実費額×1/2」となります。最も経済的な通常の経路と方法により、原則公共交通機関を利用して通学する場合の交通費が対象です。その他事情がある場合はご相談ください。

（注2）⑦⑧は、令和6年度から定額支給に変更しました。領収書の提出は不要です。

（注3）お子さんが通学している学校でタブレット端末等を活用した家庭学習を実施し、通信費、通信機器購入費・レンタル料の負担が生じる世帯が対象です。通信機器購入費・レンタル料の支給に際し、負担していることが分かる書類（契約書等）の提出が必要です。

認定段階の算定基準と補助経費

世帯の所得額と生活保護基準需要額の割合により認定段階を決定し、その認定段階により、補助する経費や金額が異なります。認定段階は、年度毎に決定します。

認定段階	算定基準	補助対象の経費
I	所得額が需要額の1.5倍未満	①～⑨
II	所得額が需要額の1.5倍以上2.5倍未満	①～⑧
III	所得額が需要額の2.5倍以上	②・③

第I・II段階の目安（生活保護基準需要額の2.5倍未満の所得額）

およそ次の所得額です。同じ世帯人数でも年齢構成などにより所得額は異なります。

世帯人数	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人世帯
世帯の所得額	600万円	700万円	790万円	840万円	930万円
（給与所得者の年収）	（790万円）	（900万円）	（1000万円）	（1050万円）	（1140万円）

「特別支援教育就学奨励費」制度とは別に、経済的にお困りの方へ、給食費や学用品費などを援助する「就学援助」制度があります。就学援助の方が手厚いため、就学援助の対象となる方は就学援助を申請されることをお勧めします。就学援助の認定をされた場合、原則③交流学習交通費を除き、他の費目は就学援助から支給されます。

通常の学級（通級指導教室を含む。）の児童生徒のうち、学校教育法施行令第 22 条の 3 に規定する障害の程度に該当するもの（おもて面にある対象者の 3）の判定基準等

区分	障害の程度 (学校教育法施行令第 22 条の 3 の規定による基準)	判定方法	必要書類
視覚障害者	両眼の矯正視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難*な程度のもの ※ 通常の文字、図形等の視覚による認識にかなりの時間を要するとともに、すべての教科等の指導において特別の支援や配慮を必要とし、かつ、障害を改善・克服するための特別な指導が系統的・継続的に必要であること	身体障害者手帳の等級が 2 級以上のもの又は身体障害者手帳の等級が 3~6 級のもののうち左の基準に該当すると医師が診断したもの	①身体障害者手帳の写し ②医師の診断書（名古屋市指定の様式による。） (②は身体障害者手帳の等級が 3~6 級のもののみ必要)
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のものうち、補聴器や人工内耳等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの		
知的障害者	1 知的発達が遅滞があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする程度のもの 2 知的発達遅滞の程度が 1 の程度に達しないものうち、社会生活への適応が著しく困難なもの	愛護手帳の療育判定が A のもの	愛護手帳の写し
肢体不自由者	1 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記など日常生活における基本的な動作*1 が不可能又は困難な程度のもの 2 肢体不自由の状態が 1 の程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導*2 を必要とする程度のもの ※1 日常生活における基本的な動作とは、歩行（車いすによる移動は含めない）、筆記をはじめ、食事、衣服の着脱、排せつ等の動作や描画等の学習活動等のこと ※2 常時の医学的観察指導とは、特定の期間内に常に医学的な観察が必要で、起床から就寝までの日常生活の一つ一つの運動・動作についての指導・訓練を受けること	身体障害者手帳の等級が 2 級以上のもの又は身体障害者手帳の等級が 3~6 級のものうち左の基準に該当すると医師が診断したもの	①身体障害者手帳の写し ②医師の診断書（名古屋市指定の様式による。） (②は身体障害者手帳の等級が 3~6 級のもののみ必要)
病弱者	1 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療*1 又は生活規制*2 を必要とする程度のもの 2 身体虚弱の状態が継続して生活規制*2 を必要とする程度のもの ※1 医師を中心とした診断や治療のこと。日常的な薬の服用や自己注射等は含まない。 ※2 疾患により、運動や日常の諸活動（歩行、入浴、読書、学習等）及び食事の質や量が著しく制限されるものであること	左の基準に該当すると医師が診断したもの	医師の診断書（名古屋市指定の様式による。）

※ 複数の障害がある者については、障害が最も重いもので判断します。

【手続き】

- ★ 特別支援学級と通級指導教室の児童生徒については、6月上旬ごろに申請のご案内をします。
- ★ その他の児童生徒について、受給を希望される場合は、学校にお申し出ください。また、医師の診断書が必要な場合は、学校で必要書類を受け取り、医療機関にお持ちいただいて、診断書の作成を依頼してください。

制度の詳しい内容につきましては、通学先の学校又は名古屋市教育委員会学事課（Tel 972-3217）へお問い合わせください。

